

一般質問



農林業を大事にしないと地域は滅ぶ 子供達について

平岡 均

就業改善センターについて

質問 就業改善センターは今の状態で、本来の機能を維持できるのか、農林業の育成保護、発展させる役割。そして一方で、教育、文化を振興させる役割。公民館事業という大変大切な事業を担う役目も持っている。そこに誰もいないということではないのか。

市長 仙北市としては、合併後、事務の効率化、また経費の削減も含めて、行政改革ということで、さまざま進めてきている。自分たちでできることは自分でという流れの中で、市民にも協力、御理解をいただかなければ改革は進まないと思っっている。しかしながら利用される方に不便があつてはいけない。ここを所管する方式として、神代出張所の中で事務取り扱いをしていただくことでスタートしている。

質問 品目横断政策とは何か、簡単にいえば米をやめて麦と豆を作れという事が。品目横断政策を強行した場合、農林業の収入はどうなるのか。税収はどうなるのか。

市長 今までの品目ごとに横断して、農業の収入安定、経営安定を中心に国が支援していくことと理解している。農業に携わる方がこの制度を活用し、自立、活動していただけるように担当課を始め、今後も力を尽くしていきたいと思つている。

質問 後期高齢者の問題では、どれぐらい市民がこのことについて知っているのか、徹底されているのか、それからもし滞納者が出たときに、短期保険証と資格証明書を出すのか、導入せざるを得ないのか。

市長 来年の四月一日に向けて広域連合が結成され、審議、決定に向けて活動しているところである。皆様の広域連合であるので決まり次第皆さんにお知らせしていきたいと思つている。

保険料の納入については年金から引き下りして納めてもらうことを原則と理解している。どうしても納められない方に対して国保と同じような形になるのか、まだ把握していない。

非核平和宣言について

質問 非核平和宣言、何回か聞いてきたのだが、なるべく早くやるべきではないかと思つているので、市長の思いを再度お聞かせいただきたい。

市長 ぜひ議会の方から提言をしていただければという答弁をし、そのままになつてしまうと記憶している。しかしながらいつまでも先送りではなく、議会とも相談しながら成果の出せるよう進めていきたいと思つている。

子供達について

質問 今、子供たちが揺れ動いていると言うか、きちつとやれば、子供たちはちゃんと純粋に、確実に育つていくと思つ。そのことを考えてみると、この山村の環境にいる子供たちほど学習もできるいい所にいると思つ。市と教育委員長はよく協議を重ねて予算を使うことをいとわないでやるべきでは。

教員 総合的学習の中で子供たちが農作業、草花の栽培、地域の方々に先生に、その作業を通していくというまなことを学んでいくということが、子供たちの成長に大

きな意味を持つと思つている。大事にしたい活動を受け止め充実する方向で進めていきたい。

質問 教育委員会の教育方針と、管轄というか、見ている教育現場とは合っているのか。

教員 私達が協議、討議する内容は教育現場のことを第一とし、子供たちのためになる、そのことについては教育委員会の方針として認めている。

教育の現場、子供たちの実態、そういうものから考え、また、議論を重ね、もつといい教育行政に向かう、というふうに受けとめている。



改めて行政財産になった仙北市就業改善センター(神代地区)